

外国人留学生と社員ボランティアがオンラインで交流

NEC ネットエスアイ株式会社 社員ボランティアの皆様

【パートナー団体:NPO 法人 COMPASS】

■活動の目的:

東京大学の外国人留学生と NEC ネットエスアイの社員がオンラインで交流する場を設け、外国人留学生が抱える「日本人および日本社会との日本語コミュニケーションの機会が不足している」課題の改善を図る。

また NEC ネットエスアイが得意とするコミュニケーションツールを駆使することで、地域コミュニティが抱える課題の解決を図ると共に、社員のダイバーシティ(多様性)とインクルージョン(包括性)への意識向上も図る。

■活動を始めたきっかけ(活動開始 2020 年):

2020 年に新型コロナウイルス感染症が拡大した影響で、大学の講義はオンライン主体となり、学生達がキャンパスに行く機会が激減し、外国人留学生にとって日本語を活用する場や日本文化に触れる機会が失われました。東京大学には世界 100 以上の国と地域から 4,500 名近くの留学生が在籍しており、日本人や日本社会に触れる機会が少なくなった課題解決の要請を受け、コミュニケーションで社会貢献する当社の想いが一致し、交流が始まりました。

■活動内容(2020 年ボランティア実数 28名):

当社は 2020 年秋から文京区社会福祉協議会の協力の下、東京大学留学生支援室、NPO 法人 COMPASS と連携し、コロナ禍で学びや交流の機会が減っている留学生と当社社員がオンラインで交流する「東大留学生・NEC ネットエスアイ日本語リモート交流プログラム」を開始しました。

新型コロナウイルス感染拡大の影響で大学の講義はオンライン主体となり、人と人との接点が激減し、学生の孤立が問題視され、特に外国人留学生にとっては日本語コミュニケーション機会の不足という深刻な課題が生じていました。慣れない日本での生活に加え、日本語を話す場や日本文化に触れる機会が失われ、来日すらできない留学生もいました。

本活動のきっかけは、東京大学留学生支援室の担当者からの支援要請でしたが、実は当社にとっても、地域コミュニティ活動の多くがコロナ禍の影響で停滞している中、新たな活動機会を模索しており、「日本企業に勤める社会人と日本語リモート交流する企画ができないか。」との留学生支援担当者の切実な要望を受け、会議コミュニケーションツール Zoom(ズーム)



の国内販売代理店第 1 号である当社に出来ることがあるのではないかと考え、名乗りを挙げました。

家族と離れて暮らす留学生にとって、年末年始は孤独を感じる時期だと聞き、何とか年内開始を目標に、2020 年 10 月から打ち合わせを重ね、11 月には参加者募集を双方で開始、12 月には留学生・社員の 1 対 1 ペアを作り、クリスマス前にはリモート交流がスタートする異例のスピード対応となりました。

これまで、当社では企業ボランティアを経験している社員も少なく、参加者が集まるのかという懸念もありましたが、蓋を開けると **28 名もの社員が手を挙げてくれました**。各々のペアが、1~2 週間に 1 度程度の交流ペースを決め、自主的に、自国の文化について、また日本での就職、働くことの意味について等、様々なテーマで交流活動を継続しました。

昨今、日本で働く希望が高まっている留学生にとって、企業人との接点は希少であり、幅広い年齢層の日本人と対話できたことは、日本社会の理解に大きな価値があったと、多数の留学生の声が寄せられました。留学生にとって、社員は歳の近い兄姉や親のような存在であり、また社員にとっては、歳下の友人のような感覚で交流が進み、中には家族ぐるみの交流を楽しみ、コロナが 5 類認定された後は、リアル交流の機会も増え、国境を越えた新たな絆が生まれました。



■活動の成果:

外国人留学生との交流は未知数でしたが、2020 年~2023 年まで累計 87 人の社員が参加し現在も交流は続いています。交流相手の話を聞き、手助けすることで社員にとって「自分でも社会貢献できる」というきっかけになりました。地域社会の課題を、社員が「自分ごと」として受け止めたことは大きな一歩であり、本活動を通じ、企業も地域の一員であることを再認識し、企業、自治体、大学、NPO という枠を超え、寄り添

う事で楽しくワクワクするような交流、それによる新しい絆が生まれたことが一番の成果でした。

第 10 回企業ボランティアアワード『インクルーシブ社会奨励賞』